会議録（概要）

会議名等	第４回　四街道市子ども読書活動推進計画策定委員会		
年 月 日	令和８年８月２０日（木）	時　間	１４：００～１５：３０
場　　所	四街道市役所２号棟１階１０１		
出 席 者	委　員　　村上会長　渡辺副会長　林委員 水野委員　秋山委員　大塚委員　山田委員 下山委員　齋藤委員　水口委員　平田委員　堀委員 事務局　　米元指導課長　猪谷指導主事　田村指導主事		
欠 席 者	１人　谷嶋委員		
傍 聴 人	０人		

委嘱状交付

――　会議次第　――

１　開会

２　教育長挨拶、会長挨拶

３　議題

　議題１　第五次計画の素案について

　議題２　策定スケジュールについて

４　諸連絡

５　閉会

――　会議要旨　――

１～２　会議次第に従い進行　米元課長

３　議題

（議題１）第五次計画の素案について

①第３回策定委員会でのご意見

なし

②巻頭文の掲載

渡辺副会長：巻頭文について、改行が多く読みづらいため、言葉の意味やつながりを考慮し段落分けすべきではないか。

事 務 局：確認し、修正する。

③修正及び変更点

渡辺副会長：第１章の色付き部分について、「スマートフォンやタブレットの使用自体がよくないこと」という意味に取ることができる。電子書籍を進める方向であれば、違う表現の方がよいのではないか。

事 務 局：電子書籍の導入も検討し始めているので、伝えたいことが正確に伝わるように再構成する。

渡辺副会長：ブックスタートやセカンドブック事業について、対象の何%が受け取っているのか。
齋藤委員：ブックスタートについては、必須の相談になるため、100%配付できている。セカンドブックについては、必須ではない検診時に引換券を配付しているため、図書館へ足を運ぶおおよそ 30～40%に配付できている。他市よりは高いという認識である。
渡辺副会長：具体的な数値目標があったほうがよいのではないか。
事 務 局：毎年度、各事業について達成率や回数など具体的な目標数値を記載した進行管理シートを作成して、各課で共有している。第五次計画でも同様に進めていく方向である。
④資料全体を通して
事 務 局：５ページの文字のずれを修正いたします。１５ページの行間をつめます。
大塚委員：５ページの⑦主語が図書館なのか学校司書なのか。図書館の活動を具体的に記載すべきではないか。
事 務 局：検討する。
堀 委 員：学校ボランティアのコーディネートを担う市民とは、いわゆる地域コーディネーターのことか。
事 務 局：社会教育課に確認をして、次回の策定委員会でお答えする。
渡辺副会長：読書タイムの記載があるが、読書タイムの定義はあるか。
事 務 局：定義は記載していない。読書タイムは朝読書だけではなく、別に時間をとっている学校もあるのが現状である。毎年度４月の校長会議で、読書タイムの実施について教育課程に位置付けるよう伝達している。
渡辺副会長：６ページ⑤の読書活動の推進を意識するという文言について、①～⑤と表記の仕方が異なるので、修正したほうがよい。
事 務 局：修正を検討する。
渡辺副会長：市立図書館の電子書籍についての先生方の認知が少ないと感じる。
林 委 員：研修会の際に、図書館担当の先生方は知っているが、他の先生は知らないという話題が出た。
事 務 局：再度周知を図る。
渡辺副会長：調べ学習に「新聞の活用」を入れ込むとよい。
事 務 局：検討する。
渡辺副会長：学校図書館長の役割、司書教諭の内容について、入れることは可能か。
事 務 局：確認する。
下山委員：７ページの趣旨の項目に、子ども読書の法律に基づいての記載があるとよい。
事 務 局：記載する方向で検討する。
平田委員：３２ページ、３４ページの誤字を修正願う。
事 務 局：修正する。
水口委員：１３ページ、第四次計画の読書バリアフリー法から読書バリアフリーの視点と記載を変更した理由はなぜか。

渡辺副会長：読書バリアフリーについて、マルチメディアデイジー等具体的に何をすればよいのかがわかるように記載すべき。
事 務 局：表記の仕方について検討する。
村上会長：２ページ良さはよさにすべき。
事 務 局：検討する。

（議題２）策定スケジュールについて
なし

４　諸連絡
事 務 局：第５回策定委員会は令和８年１０月１６日（金）１４時からで、会場は市役所２号棟２階２０３となる。

５　会議次第に従い進行　　米元課長

会議録署名人